(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第4726331号
(P4726331)
(45)発行日　平成23年7月20日(2011.7.20)　(24)登録日　平成23年4月22日(2011.4.22)

(51)Int.Cl.　F I
D06F 35/00 (2006.01)　D06F 35/00 A

請求項の数 1　(全 6 頁)

(21)出願番号　特願2001-169121(P2001-169121)
(22)出願日　平成13年6月5日(2001.6.5)
(65)公開番号　特開2002-360977(P2002-360977A)
(43)公開日　平成14年12月17日(2002.12.17)
審査請求日　平成20年6月4日(2008.6.4)

(73)特許権者　000109129
株式会社ダイヤコーポレーション
東京都中野区中野２丁目２番４号
(74)代理人　100093115
弁理士　佐渡　昇
(72)発明者　豊沢　学
東京都中野区中野２丁目２番４号　株式会社ダイヤコーポレーション内

審査官　木戸　優華

(56)参考文献　実開平０２－００４５８６（ＪＰ，Ｕ）
実開昭６０－０１８７８５（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
D06F 35/00

(54)【発明の名称】吊り部材付洗濯ネット

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
洗濯物を出し入れする出し入れ口をファスナーで構成した袋状の洗濯ネットであって、
この洗濯ネットを吊すための硬質材からなる吊り部材が、洗濯ネットの内側であって、かつ、前記ファスナーの開口終端部近くにおいて，帯体を該吊り部材に通して折り返し、該折り返し側と反対側の端部を前記洗濯ネットの内側に逢着することによって設けられており，前記帯体の自由長の長さが、該帯体の前記洗濯ネットへの逢着部から前記出し入れ口における前記ファスナーを閉じる際の始端部までの長さよりも短くなっていることを特徴とする吊り部材付洗濯ネット。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は洗濯ネットに関する。特に、洗濯ネットをその不使用時に吊しておくための吊り部材を備えた洗濯ネットに関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
従来、洗濯物を出し入れする出し入れ口をファスナーで構成した袋状の洗濯ネットが知られている。
このような洗濯ネットによれば、そのファスナーを開いて洗濯物を入れた後にファスナーを閉じ、洗濯機に投入することにより、洗濯物をソフトにかつ糸くず等を付着させること

なく洗濯することができる。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
上述したような洗濯ネットは、これを使用しないときに、吊して干しておくことが衛生上望ましい。
この発明の目的は、不使用時に吊しておくことのできる吊り部材付洗濯ネットを提供することにある。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために請求項１記載の吊り部材付洗濯ネットは、洗濯物を出し入れする出し入れ口をファスナーで構成した袋状の洗濯ネットであって、
この洗濯ネットを吊すための硬質材からなる吊り部材が、洗濯ネットの内側であって、かつ、前記ファスナーの開口終端部近くにおいて，帯体を該吊り部材に通して折り返し、該折り返し側と反対側の端部を前記洗濯ネットの内側に逢着することによって設けられており，前記帯体の自由長の長さが、該帯体の前記洗濯ネットへの逢着部から前記出し入れ口における前記ファスナーを閉じる際の始端部までの長さよりも短くなっていることを特徴とする。
【０００５】
【作用効果】
請求項１記載の吊り部材付洗濯ネットは、洗濯物を出し入れする出し入れ口をファスナーで構成した袋状の洗濯ネットであって、この洗濯ネットを吊すための硬質材からなる吊り部材が、洗濯ネットの内側であって、かつ、前記ファスナーの開口終端部近くに設けられているので、この吊り部材付洗濯ネットによれば、次のような作用効果が得られる。
（ａ）吊り部材が設けられているので、不使用時には、この吊り部材を用いてフック等に吊すことができる。
（ｂ）吊り部材は硬質材（例えばプラスチックや金属）で構成されているので、これを容易に摘んで洗濯ネットを容易に吊すことができる。
吊り部材は、例えば紐等の軟質材でリング状に構成することも考えられるが、そうすると、洗濯ネット使用後（洗濯後）に、濡れて捻れる等したリング状の紐を開く等の手間が煩雑になる。
これに対し、この請求項１記載の吊り部材付洗濯ネットによれば、吊り部材が硬質材で構成されているので、洗濯ネット使用後（洗濯後）においても、捻れる等せず、したがって、これを容易に摘んで洗濯ネットを容易に吊すことができる。
（ｃ）吊り部材は、洗濯ネットの外側にではなく内側に設けられているので、洗濯機への投入時（洗濯時）に異音が発生せず、また、吊り部材に他の洗濯物（洗濯ネットに入れられていない洗濯物）のボタン等が絡まったりしない。
上記（ｂ）の作用効果を得るべく吊り部材を硬質材で構成した場合に、この吊り部材を洗濯ネットの外側に設けたとすると、洗濯時に、その吊り部材が洗濯機の洗濯槽の内壁面に当たってカチカチという異音が発生する。また吊り部材に他の洗濯物のボタン等が絡まったりする。
これに対し、この請求項１記載の吊り部材付洗濯ネットによれば、吊り部材が洗濯ネットの外側にではなく内側に設けられているので、吊り部材が硬質材で構成されているにもかかわらず洗濯機への投入時に異音が発生せず、また、吊り部材に他の洗濯物のボタン等が絡まったりしない。
（ｄ）吊り部材は、ファスナーの開口終端部近くに設けられているので、吊り部材が洗濯ネットの内側に設けられているにもかかわらず洗濯ネット不使用時に吊り部材を容易に摘むことができ、洗濯ネット使用時（洗濯時）にはファスナーを円滑に閉じることができるとともに、ファスナーの不完全な閉じ状態を防止することができる。
吊り部材を洗濯ネットの内側に取り付けると、その取付位置によっては、不使用時に吊り部材を摘みにくくなる。例えば洗濯ネットの奥部（ファスナーから遠ざかった位置）に取

り付けると吊り部材を摘みにくくなる。
ファスナーの近くに吊り部材を設ければ、不使用時に吊り部材を摘み易くはなるが、使用時にファスナーを閉じる際に吊り部材が邪魔になりやすくなってファスナーを閉じにくくなる。特に、吊り部材をファスナーの開口始端部（ファスナーを閉じる場合の終端部）近くに取り付けると、吊り部材がファスナーに挟まれやすくなってファスナーが完全に閉じられないまま洗濯機に投入されてしまうという事態が生じやすくなる。
これに対し、この請求項１記載の吊り部材付洗濯ネットによれば、吊り部材がファスナーの開口終端部近くに設けられているので、吊り部材が洗濯ネットの内側に設けられているにもかかわらず洗濯ネット不使用時に吊り部材を容易に摘むことができ、使用時にファスナーを閉じる際には、吊り部材が邪魔になりにくくなってファスナーを円滑に閉じることができると同時に吊り部材がファスナーに挟まれなくなて、ファスナーの不完全な閉じ状態を防止することができる。
【０００６】
【発明の実施の形態】
以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。
図１は本発明に係る吊り部材付洗濯ネットの一実施の形態を示す概略斜視図、図２は上記洗濯ネットを部分的に捲り返した図で、（ａ）は部分斜視図、（ｂ）は図（ａ）におけるｂ－ｂ断面図である。図３は洗濯ネットの不使用時における吊り下げ状態を示す斜視図である。
【０００７】
図１に示すように、この洗濯ネット１０は、洗濯物（図示せず）を出し入れする出し入れ口１１をファスナー１２で構成した袋状の洗濯ネットであり、この洗濯ネット１０を例えば図３に示すように吊すための硬質材からなる吊り部材１３が、洗濯ネットの内側であって、かつ、ファスナー１２の開口終端部１２ａ近くに設けられている。
【０００８】
洗濯ネット１０自体は、公知のように、２枚の略瓢箪形の網状シート１０ａ，１０ａの周縁部１０ｂ、１０ｂ同士を、バイアステープ１０ｃを沿わせて逢着し全体として略球状に形成してある（この逢着構造自体は野球ボールの表皮の逢着構造と略同様である）。ただし、上記出し入れ口１１部分については、網状シート１０ａ，１０ａの周縁部１０ｂ、１０ｂ同士を直接逢着せずに、ファスナー１２をバイアステープ１０ｃを沿わせて逢着し、これによって出し入れ口１１を構成している。
なお、ネットの編み目の大きさや形状は洗濯ネットの用途（例えば、女性下着用、ワイシャツ用、セーター用、等）に応じて適宜設定できる。
【０００９】
出し入れ口１１は、ファスナー１２のスライダ１２ｃを、そのつまみ１２ｄを摘んでスライドさせることにより開閉することができる。
ファスナー１２の開口始端部（閉じる場合の終端部）１２ｂは、ゴムバンド（表面が布状のゴムバンド）１５で覆われており、ファスナー１２を完全に閉じた際に、そのスライダ１２ｃおよびつまみ１２ｄをゴムバンド１５の内側に収容することができるようになっている。
したがって、洗濯ネット１０の使用時（洗濯時）に、スライダ１２ｃまたはつまみ１２ｄが洗濯機の洗濯槽の内壁に当たってカチカチという異音が発生することがない。
【００１０】
この実施の形態における吊り部材１３は、硬質材、例えばプラスチックや金属でリング状に構成されている。
図２（ａ）（ｂ）に示すように、吊り部材１３は、布等からなる帯体１６を吊り部材１３に通して折り返し（折り返し部を１６ｂで示す）、両端１６ａ、１６ａを上記網状シート１０ａ，１０ａの周縁部１０ｂ、１０ｂおよびバイアステープ１０ｃとともに逢着１０ｄすることによって洗濯ネット１０の内側に取り付けられている。なお、図２（ａ）は、図１に示す状態から吊り部材１３を矢印Ａで示すように出し入れ口１１から引き出すことに

より洗濯ネット１０を部分的に捲り返した状態を示している部分斜視図である。
また、この実施の形態では、帯体１６の折り返し部１６ｂの近くで帯体１６を逢着１６ｃし、この逢着部１６ｃによって、吊り部材１３が、帯体１６の基部方向（図２（ａ）において上方）へ移動するのを規制してある。
帯体１６の自由長の長さＬ１は、帯体１６の洗濯ネット１０への逢着部１０ｄから出し入れ口１１の端部（ファスナー１２を閉じる際の始端部）１１ａまでの長さＬ２よりも短くしてあり、少なくとも帯体１６の先端部（上記折り返し部１６ｂおよびその付近）が出し入れ口１１から突出しにくくしてある。

【００１１】

以上のような洗濯ネット１０によれば、そのファスナー１２を開いて洗濯物を入れた後にファスナー１２を閉じ、洗濯機に投入することにより、洗濯物をソフトにかつ糸くず等を付着させることなく洗濯することができる。
そして、この実施の形態の吊り部材付洗濯ネット１０は、この洗濯ネット１０を吊すための硬質材からなる吊り部材１３が、洗濯ネット１０の内側であって、かつ、ファスナー１２の開口終端部１２ａ近くに設けられているので、この吊り部材付洗濯ネット１０によれば、次のような作用効果が得られる。

【００１２】

（ａ）吊り部材１３が設けられているので、不使用時には、この吊り部材１３を用いて、例えば図３に示すようにフックＦ等に吊すことができる。
なお、図３においてＷはフックＦをその吸盤Ｂで取り付けてある壁面（洗濯室や浴室の壁面、あるいは洗濯機等の側面）である。

【００１３】

（ｂ）吊り部材１３は硬質材（例えばプラスチックや金属）で構成されているので、これを容易に摘んで洗濯ネット１０を容易に吊すことができる。
吊り部材は、例えば上記帯体１６のように紐等の軟質材でリング状に構成することも考えられるが、そうすると、洗濯ネット使用後（洗濯後）に、濡れて捻れる等したリング状の紐を開く等の手間が煩雑になる。
これに対し、この吊り部材付洗濯ネット１０によれば、吊り部材１３が硬質材で構成されているので、洗濯ネット使用後（洗濯後）においても、捻れる等せず、したがって、これを容易に摘んで洗濯ネット１０を容易に吊すことができる。

【００１４】

しかも、吊り部材１３は、帯体１６の先端に位置していて帯体１６の基部方向への移動が規制されているので、一層容易に吊り部材１３を摘んで洗濯ネット１０を容易に吊すことができる。

【００１５】

（ｃ）吊り部材１３は、洗濯ネット１０の外側にではなく内側に設けられているので、洗濯機への投入時（洗濯時）に異音が発生せず、また、吊り部材１３に、洗濯槽内の他の洗濯物（洗濯ネット１０に入れられていない洗濯物）のボタン等が絡まったりしない。
上記（ｂ）の作用効果を得るべく吊り部材１３を硬質材で構成した場合に、この吊り部材１３を洗濯ネット１０の外側に設けたとすると、洗濯時に、その吊り部材１３が洗濯機の洗濯槽の内壁面に当たってカチカチという異音が発生する。
また吊り部材１３に他の洗濯物のボタン等が絡まったりする。
これに対し、この実施の形態の吊り部材付洗濯ネット１０によれば、吊り部材１３が洗濯ネット１０の外側にではなく内側に設けられているので、吊り部材１３が硬質材で構成されているにもかかわらず洗濯機への投入時に異音が発生せず、また、吊り部材１３に他の洗濯物のボタン等が絡まったりしない。

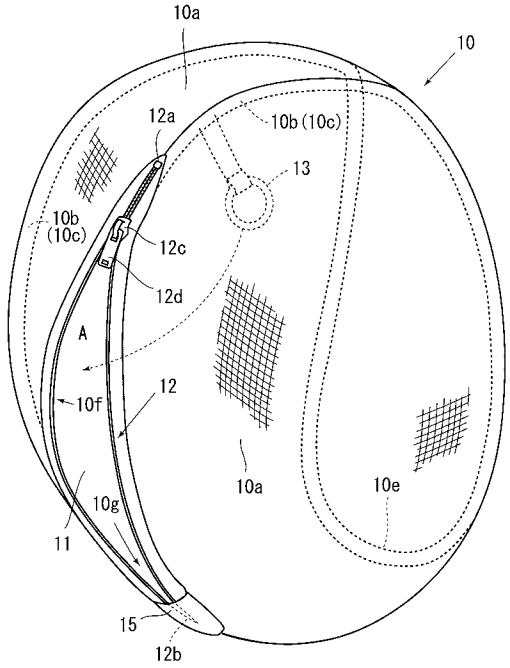
【００１６】

（ｄ）吊り部材１３は、ファスナー１２の開口終端部１２ａ近くに設けられているので、吊り部材１３が洗濯ネット１０の内側に設けられているにもかかわらず洗濯ネット不使用時に吊り部材１３を容易に摘むことができ、洗濯ネット使用時にはファスナー１２を円滑

に閉じることができるとともに、ファスナー１２の不完全な閉じ状態を防止することができる。
吊り部材１３を洗濯ネット１０の内側に取り付けると、その取付位置によっては、不使用時に吊り部材１３を摘みにくくなる。例えば洗濯ネット１０の奥部（ファスナー１２（したがって出し入れ口１１）から遠ざかった位置１０ｅ（図１参照）等）に取り付けると吊り部材１３を摘みにくくなる。
ファスナー１２の近く（１０ｆ（図１、図２（ａ）参照）等）に吊り部材１３を設ければ、不使用時に吊り部材１３を摘み易くはなるが、そうすると、使用時にファスナー１２を閉じる際に吊り部材１３（あるいは帯体１６）が邪魔になりやすくなってファスナーを閉じにくくなる。特に、吊り部材１３をファスナー１２の開口始端部（ファスナー１２を閉じる場合の終端部）１２ｂ（図１参照）近く１０ｇに取り付けると、吊り部材１３（あるいは帯体１６）がファスナー１２に挟まれやすくなってファスナー１２が完全に閉じられないまま洗濯機に投入されてしまうという事態が生じやすくなる。
これに対し、この実施の形態の吊り部材付洗濯ネット１０によれば、吊り部材１３がファスナー１２の開口終端部１２ａ近くに設けられているので、吊り部材１３が洗濯ネット１０の内側に設けられているにもかかわらず洗濯ネット不使用時に吊り部材１３を容易に摘むことができ、使用時にファスナー１２を閉じる際には、吊り部材１３（あるいは帯体１６）が邪魔になりにくくなってファスナー１２を円滑に閉じることができると同時に吊り部材１３（あるいは帯体１６）がファスナー１２に挟まれなくなて、ファスナー１２の不完全な閉じ状態を防止することができる。
【００１７】
この実施の形態では、帯体１６の自由長の長さＬ１を、帯体１６の洗濯ネット１０への逢着部１０ｄから出し入れ口１１の端部（ファスナー１２を閉じる際の始端部）１１ａまでの長さＬ２よりも短くして、少なくとも帯体１６の先端部（上記折り返し部１６ｂおよびその付近）が出し入れ口１１から突出しにくくしてあるので、使用時にファスナー１２を閉じる際には、吊り部材１３および帯体１６（特に帯体１６）が確実に邪魔になりにくくなってファスナー１２をより一層円滑に閉じることができる。なお、吊り部材１３自体が出し入れ口１１から多少突出したとしても、吊り部材１３は硬質の材料で構成され滑りやすいので、ファスナー１２を閉じる際にそれほど妨げとはならない。したがって、上記長さＬ１は必ずしも吊り部材１３の長さを含めた長さとする必要はなく、この実施の形態ではそのようにしてある（Ｌ１を帯体１６の自由長長さとしてある）。
【００１８】
以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明は上記の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨の範囲内において適宜変形実施可能である。
例えば、吊り部材１３の形状は、リング状に限らず、洗濯ネット１０の内側に確実に取り付けることができてフック等の被掛け体に掛けることのできる形状であれば、適宜の形状を採用することができるが、例えば、「８」の字形、「δ」形等、少なくとも洗濯ネットに取り付けるためのリング部を有する形状を採用することが望ましい。
【００１９】
【図面の簡単な説明】
【図１】本発明に係る吊り部材付洗濯ネットの一実施の形態を示す概略斜視図。
【図２】上記洗濯ネットを部分的に捲り返した図で、（ａ）は部分斜視図、（ｂ）は図（ａ）におけるｂ－ｂ断面図。
【図３】洗濯ネットの不使用時における吊り下げ状態例を示す斜視図。
【符号の説明】
１０　吊り部材付洗濯ネット
１１　出し入れ口
１２　ファスナー
１２ａ　開口終端部
１３　吊り部材

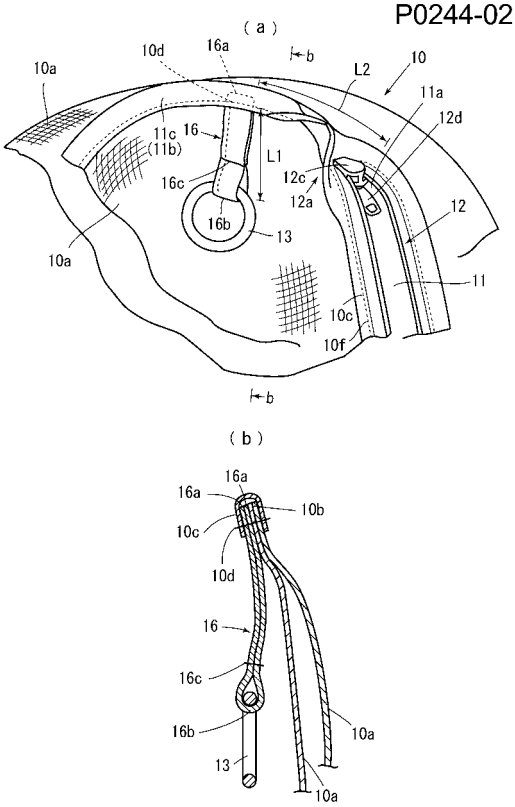
【図１】

P0244-01



【図２】

P0244-02



【図３】

P0244-03

